

初月地区（円行寺・柴巻）
中山間防災計画書

平成 29 年 2 月

高知市防災対策部 地域防災推進課
初月地区中山間防災計画検討会

目 次

| | page |
|--------------------------------|------|
| 第1章 はじめに..... | 1 |
| 第2章 中山間防災計画とは..... | 2 |
| 第3章 初月地区（円行寺・柴巻）の概要..... | 3 |
| 第1節 地形・地質的な特徴..... | 3 |
| 第2節 社会環境..... | 5 |
| 第3節 防災計画上の留意点..... | 6 |
| 第4章 想定される地震と被害想定..... | 7 |
| 第1節 想定される地震..... | 7 |
| 第2節 被害想定..... | 8 |
| 第3節 土砂災害について..... | 10 |
| 第5章 孤立のおそれのある集落..... | 13 |
| 第1節 孤立集落とは..... | 13 |
| 第2節 人家の立地とコミュニティーの活動状況..... | 13 |
| 第3節 道路状況..... | 14 |
| 第4節 拠点となる施設..... | 15 |
| 第5節 孤立集落のブロック分け..... | 16 |
| 第6章 情報通信手段の検討..... | 17 |
| 第7章 ヘリコプターによる傷病者や物資の搬送..... | 18 |
| 第1節 ヘリポート（輸送基地）整備の検討..... | 18 |
| 第2節 ヘリコプター離着陸可能場所..... | 18 |
| 第8章 自主防災組織の活動活性化..... | 19 |
| 第9章 現状の課題と解決の方向性..... | 20 |
| 第10章 検討経緯..... | 21 |
| 初月地区（円行寺・柴巻） 孤立集落のブロック分け図..... | 22 |

第1章 はじめに

平成 16 年 10 月に発生した新潟県中越地震（マグニチュード 6.8，最大震度 7）では，山間部において土砂災害が多発し，地すべり，土砂崩れなどによって交通や通信が各地で途絶することにより 7 市町村の 61 地区が孤立しました。この地震は，発生が夜間であったため，孤立集落での被害状況把握が困難であり，救助・避難，物資供給等に伴うヘリコプター活用方法や，高齢化も特に進んだ地域であり，避難生活等において十分な配慮を要したことなど中山間地域における地震災害特有の課題が明らかとなっています。

高知市においても，平成 26 年 8 月の台風 12 号・11 号の通過に伴う豪雨によって，県道 16 号が被災し，高知市工石山青少年の家で小中学生ら 78 名が孤立状態となるなど，土砂災害による集落の孤立が発生しました。

南海トラフ地震は，今後 30 年以内に 70%程度（地震調査研究推進本部：平成 29 年 1 月現在）の高い確率で発生すると予測されています。また，内閣府が平成 24 年 8 月に発表した「南海トラフの巨大地震」の予測ではマグニチュード 9.1 と，東日本大震災のマグニチュード 9.0 を上回る規模の地震発生を想定しています。

南海トラフ地震発災時は，津波等により広域的に甚大な被害が予測されるため，市役所や消防等による早期の救助活動や支援物資の提供（公助）は期待できません。ヘリコプターによる救助・輸送活動も全県下的に行われることが予想されます。

本計画は，初月地区（円行寺・柴巻）の住民が主体となり，「自分の命は自分で守る」（自助），「地域の安全は地域で守る」（共助）ことを，基本として作成します。策定した計画を基に，事前の備えを継続することが重要です。計画の対象期間は，地震の発生前から，発生後の避難生活を行う期間を想定しています。計画策定後も必要に応じて更新していくことが重要です。

| 時系列 | 中山間部 | 沿岸部 | 役割 | | |
|------------------|--|---|----|----|----|
| | | | 自助 | 共助 | 公助 |
| 地震発生前 | <ul style="list-style-type: none"> 中山間防災計画に基づく事前の備え | <ul style="list-style-type: none"> 津波避難計画に基づく事前の備え | ● | ● | ● |
| 緊急地震速報受信 地震発生 | <ul style="list-style-type: none"> 想定震度6強～7 | <ul style="list-style-type: none"> 想定震度6強～7 | ● | ● | |
| 避難 | <ul style="list-style-type: none"> 建物倒壊 家具転倒 ライフラインの断絶 土砂災害等 集落の孤立化等の甚大な被害 | <ul style="list-style-type: none"> 液状化 建物倒壊 家具転倒 火災 津波等 特に津波による甚大な被害 | ● | ● | |
| 避難生活 | <ul style="list-style-type: none"> 避難所，防災拠点の設置・運営 地震・生活情報の入手 安否確認等 | <ul style="list-style-type: none"> 避難所，防災拠点の設置・運営 地震・生活情報の入手 安否確認等 | ● | ● | △ |
| 復旧 | <ul style="list-style-type: none"> インフラの復旧，住宅再建等 | <ul style="list-style-type: none"> インフラの復旧，住宅再建・復興まちづくり等 | ● | ● | ● |

図 1 本計画の位置づけ

第2章 中山間防災計画とは

中山間地域は、大規模災害発生時に、土砂災害等によって道路が寸断され、集落が孤立するおそれがあります。中山間防災計画は、災害対策本部等との情報伝達、傷病者及び物資の搬送、自主防災組織の活動活性化等に関する方策を検討し、孤立が予想される集落の防災力向上を図るものです。

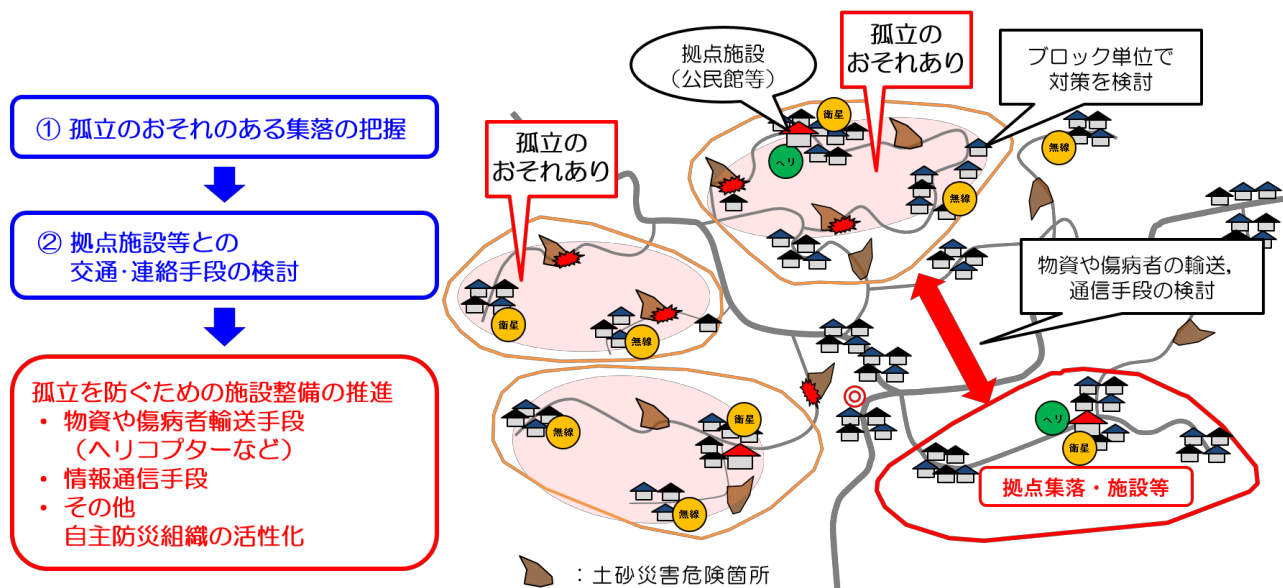


図 2 中山間防災計画のイメージ

計画では、まず住家の点在状況、道路の状況や情報通信手段の確保状況から孤立が予想される集落を把握します。

次に、拠点となる避難所等の施設、緊急用ヘリコプター離着陸場等の状況を踏まえて拠点集落を決定し、災害発生時の拠点集落と孤立集落との交通・情報通信手段の検討を行います。

具体的には、防災行政無線等の情報通信手段、緊急用ヘリコプターによる傷病者や物資の搬送等について検討します。併せて、初月地区（円行寺・柴巻）の地域特性をふまえた課題や、自主防災組織の活性化等についても検討し、地域防災力の向上を図ります。

集落の孤立が発生する大規模災害には、地震や豪雨等が考えられます。今回の計画策定は、近い将来必ず発生すると言われる南海トラフ地震を想定していますが、それによって豪雨災害等に対する防災力も向上すると考えます。

第3章 初月地区（円行寺・柴巻）の概要

第1節 地形・地質的な特徴

初月地区の中山間部である円行寺・柴巻は、写真1～写真3に示すように谷出口の扇状地や急傾斜地に人家が立地しています。

表層の地質は、図3に示すように蛇紋岩が分布しています。蛇紋岩は鉱物資源を含有することから、円行寺では鉱業開発が進められてきました。一方、蛇紋岩は風化作用を受けやすく脆くて崩れやすい性質があります。昭和51年には台風17号の影響による集中豪雨のため地すべり性の崩壊が生じ、地すべり防止区域に指定されています。

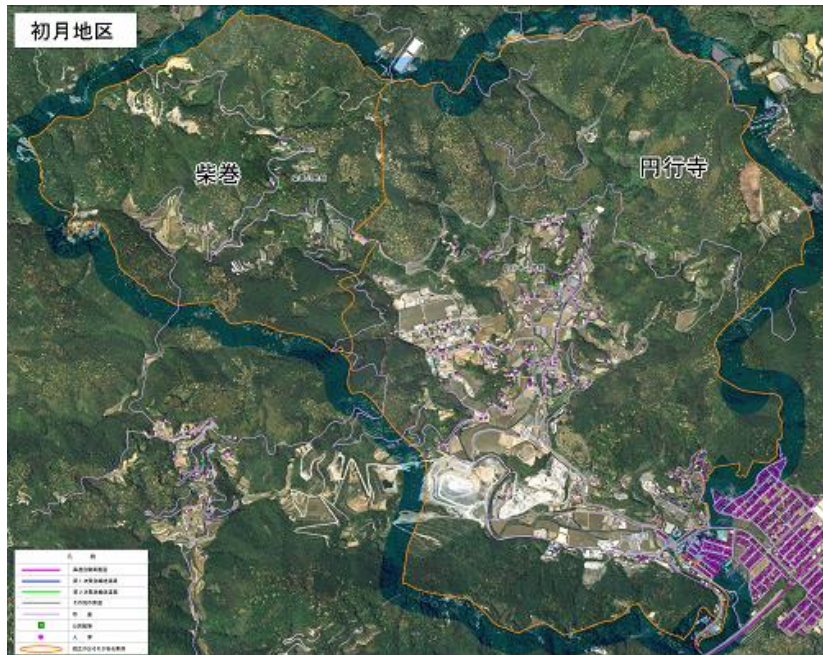


写真1 円行寺・柴巻（航空写真）平成27年度デジタルオルソフォトデータを使用



写真2 扇状地に立地する集落（円行寺）



写真3 急傾斜地が近接した集落（柴巻）

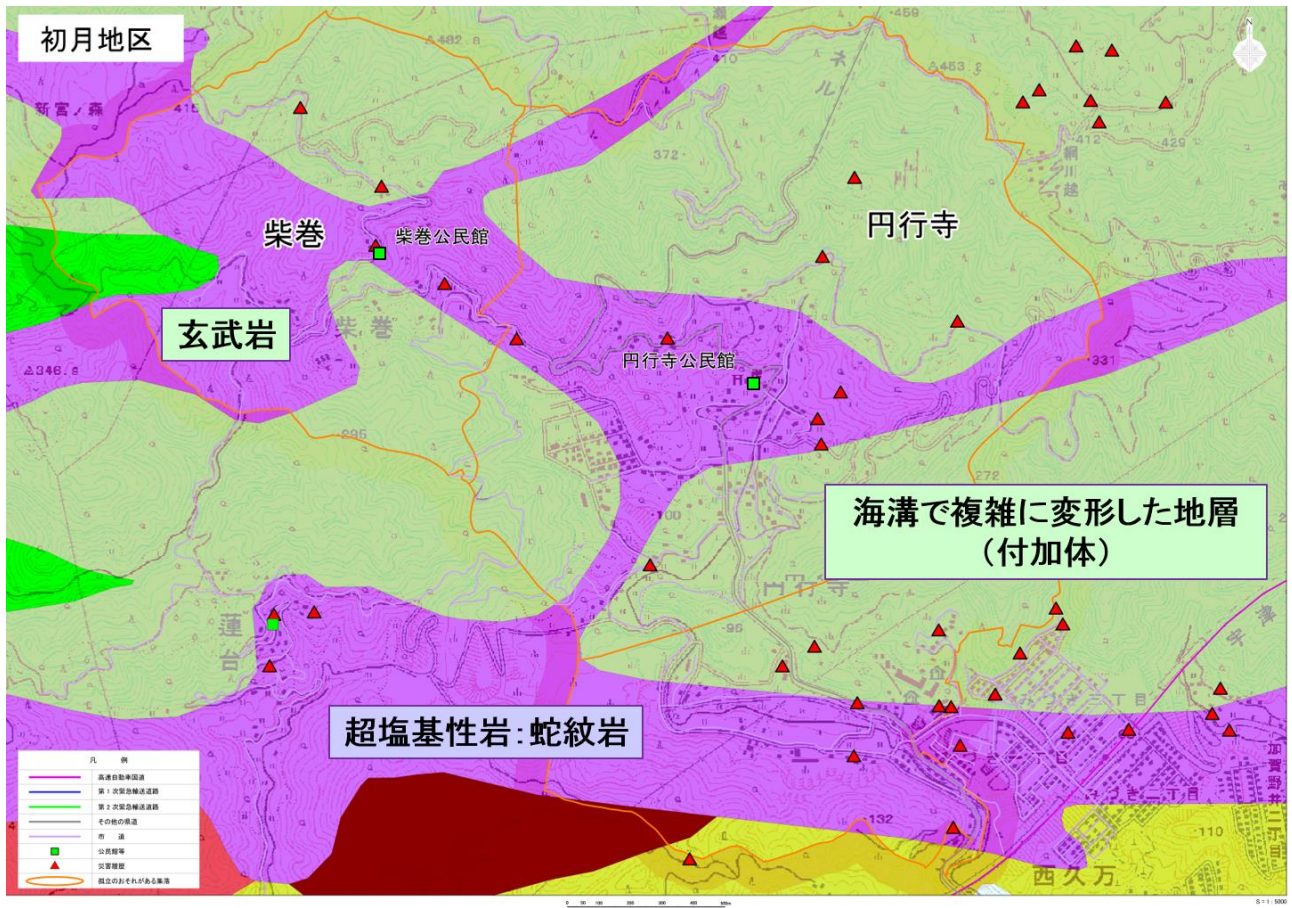


図 3 地質図

国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター
地質図 Navi シームレス地質図を基に作成

第2節 社会環境

1) 集落の状況

初月地区の中山間部である円行寺・柴巻は、初月小学校区の北部で高知市中心部から県道 270 号（弘瀬高知線 通称円行寺通り）を北へ約 5km に位置しています。指定避難所や医療機関等は高知自動車道の南側の市街地に立地しています。

人口は、表 1 に示すとおりであり、高齢化率は 40% を超え高知市平均 27%（H27 年）より高くなっています。

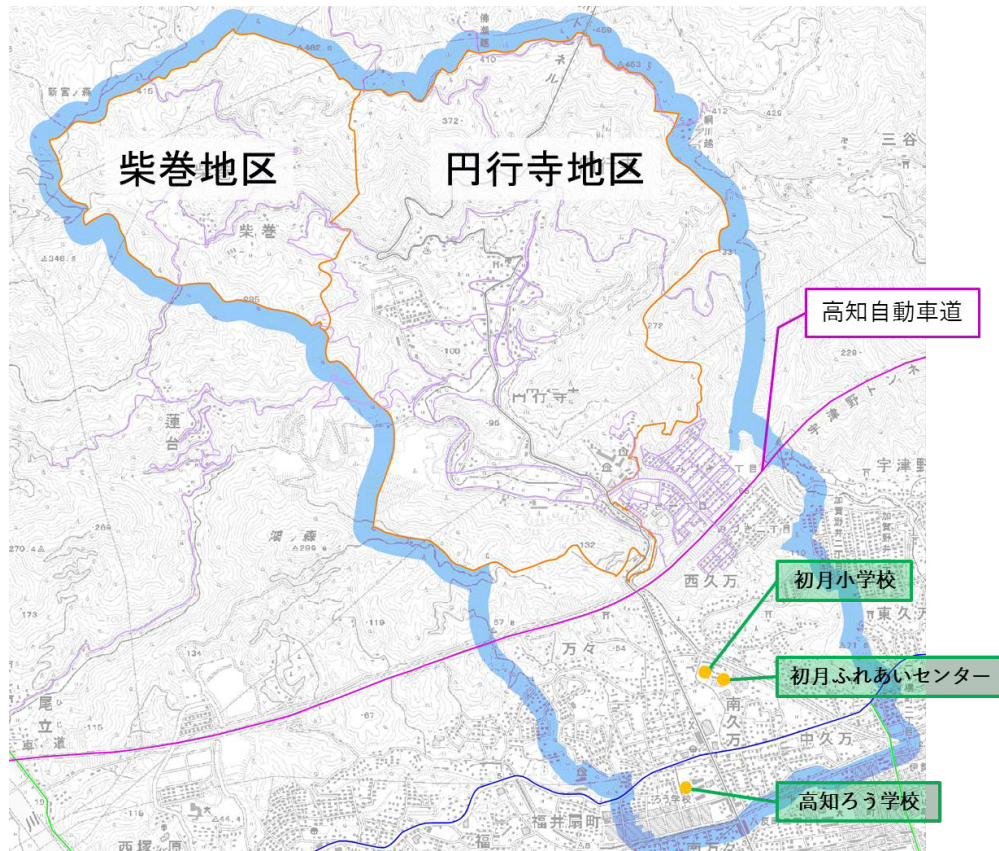


図 4 初月小学校区

表 1 人口・世帯数

| 町名 | 世帯数 (世帯) | 総人口 (人) | 男 (人) | 女 (人) | 年齢別人口 | | |
|-----|-------------|------------|----------|----------|--------------|----------------|----------------|
| | | | | | 0~14 歳 | 15~64 歳 | 65 歳以上 |
| 円行寺 | 234 | 468 | 207 | 261 | 34 (7.3%) | 236 (50.4%) | 198 (42.3%) |
| 柴巻 | 10 | 25 | 13 | 12 | 0 (0.0%) | 14 (56.0%) | 11 (44.0%) |
| 合計 | 244 | 493 | 220 | 273 | 34 (6.9%) | 250 (50.7%) | 209 (42.4%) |

出典：高知市住民基本台帳（平成 28 年 7 月 1 日時点）

2) 法規制等

中山間防災計画に基づき、ヘリポートの整備等を検討するに当たっては、候補地に係る法規制等を把握する必要があります。初月地区（円行寺・柴巻）に係る法規制等を下図に示します。柴巻の一部は北山県立自然公園区域（特別地域）に指定されていることから、整備に伴う許可等が必要となる場合があります。

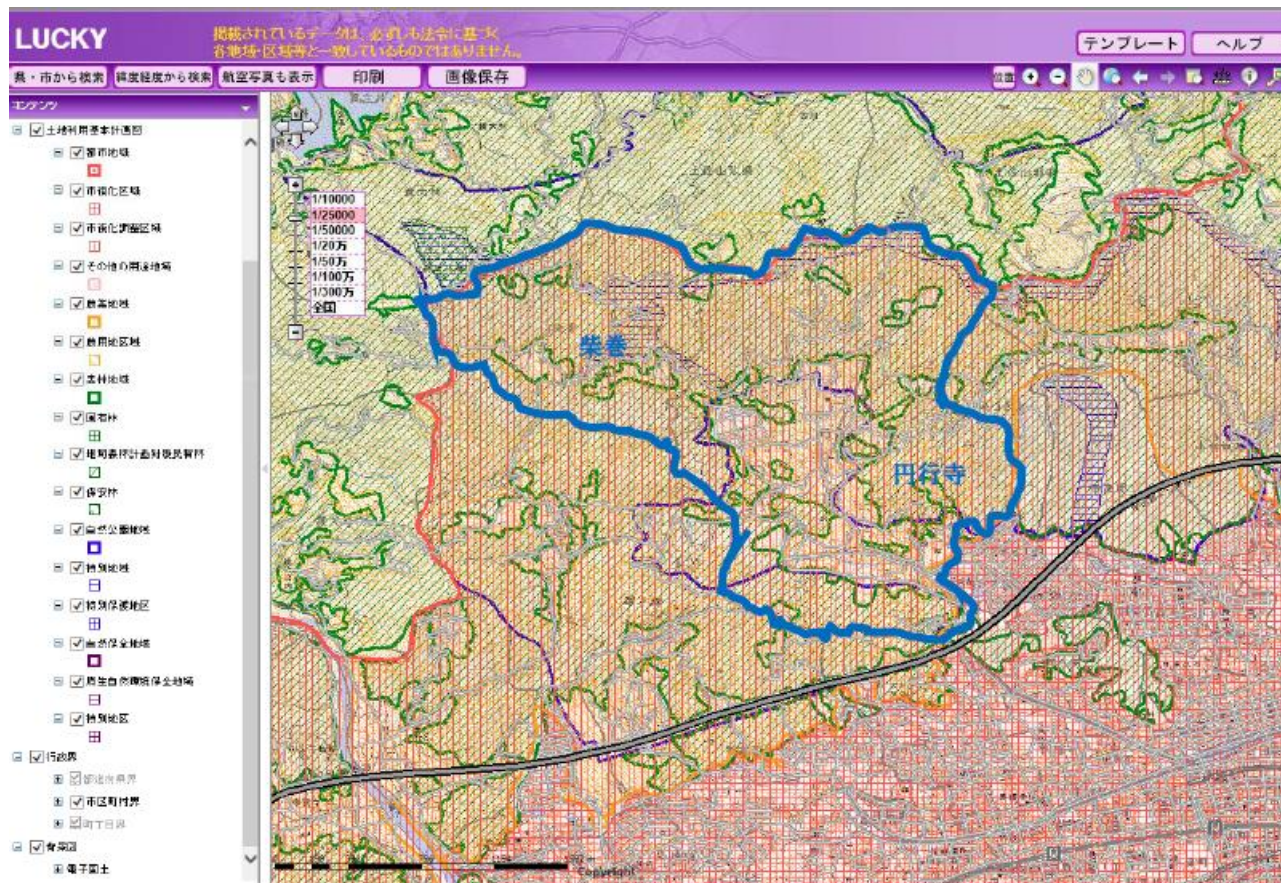


図 5 土地利用基本計画（国土交通省 土地利用調整総合支援ネットワークシステムより抜粋）

第3節 防災計画上の留意点

初月地区（円行寺・柴巻）の概要を踏まえて、以下の事項に留意が必要です。

表 2 初月地区（円行寺・柴巻）の特徴と防災計画上の留意点

| 初月地区（円行寺・柴巻）地区の特徴 | | 防災計画上の留意点 |
|-------------------|--------------------------------------|----------------------------|
| 地形地質 | 蛇紋岩が分布し一部が地すべり防止区域に指定されている。 | 揺れによる土砂災害 地震後の降雨による二次災害 |
| | 人家背後や道路沿いに急傾斜地がある。 扇状地に人家が立地している。 | |
| 社会環境 | 地区内には指定避難所が立地していない | 長期避難が可能な拠点施設の確保 |
| | 地区内には医療救護施設が立地していない | 孤立した場合の傷病者等の救護 |
| 法規制等 | 市街化調整区域 自然公園地域 特別地域（柴巻） | 造成工事を行う際に許可等が必要となる場合がある |

第4章 想定される地震と被害想定

第1節 想定される地震

高知県が想定する南海トラフの巨大地震の震度分布図によれば、初月地区（円行寺・柴巻）では、想定震度6強～震度7，継続時間2分半～3分以上の経験したことがない非常に強い揺れが想定されています。

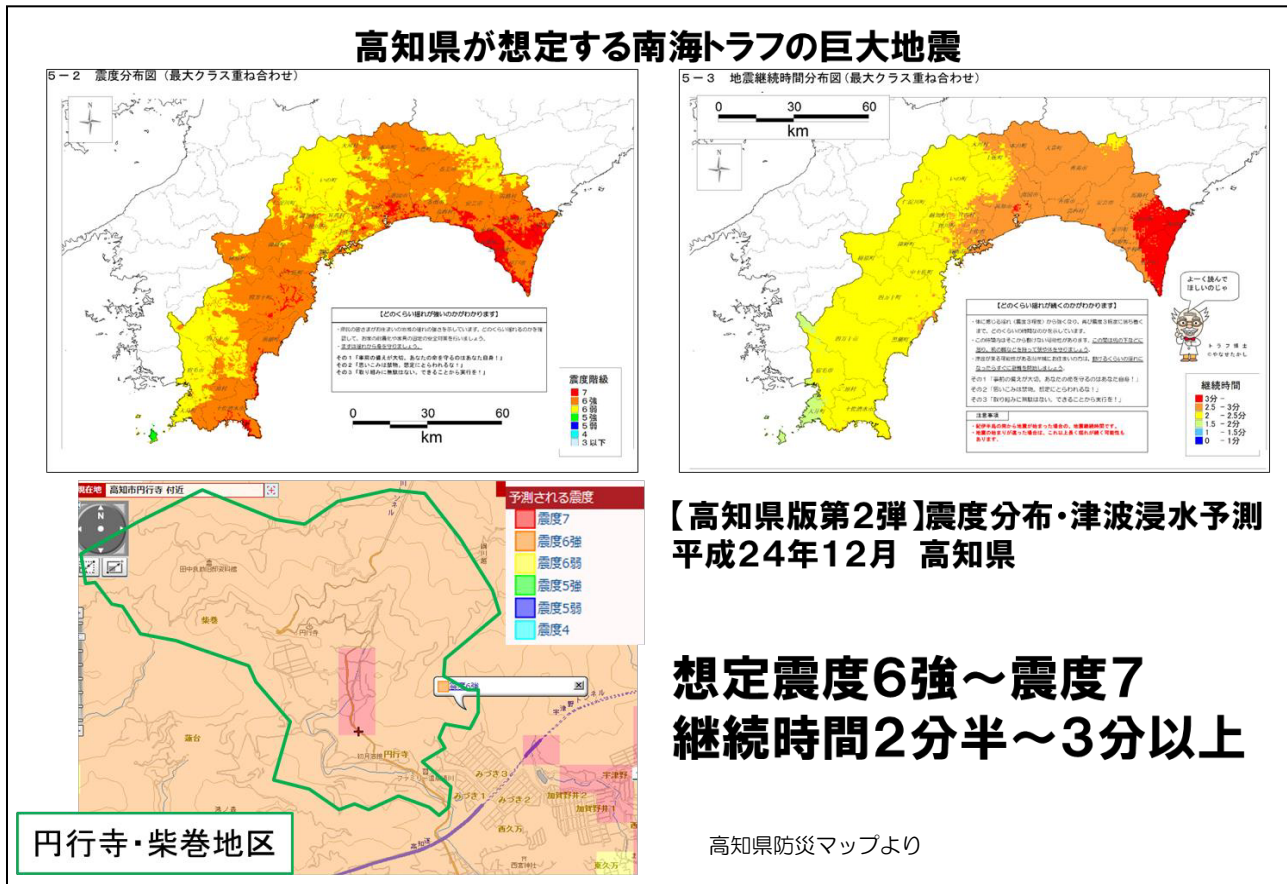


図 6 想定震度分布図

（出典：【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測（平成24年12月 高知県））

第2節 被害想定

高知市では、特に建物倒壊と津波による甚大な被害が想定されています。初月地区（円行寺・柴巻）では、揺れによる建物倒壊、火災、急傾斜地崩壊等の被害が想定されます。

しかしながら、津波被害が甚大かつ広域的に発生するため、中山間部への救助・物資の補給活動に時間を要する事態も想定されます。



図 7 津波浸水予測図（高知県防災マップより）

高知市全体の地震・津波による被害想定

表 3 建物被害：棟数 130,425 棟

| 項目 | 全壊（棟） | | 半壊（棟） |
|--------|--------|-------|--------|
| | 現状 | 対策後 | 現状 |
| 被害の要因 | 現状 | 対策後 | 現状 |
| 液状化 | 340 | — | 1,400 |
| 揺れ | 32,000 | 5,000 | 29,000 |
| 急傾斜地崩壊 | 260 | — | 230 |
| 津波 | 16,000 | — | 22,000 |
| 地震火災 | 2,800 | — | — |
| 合計 | 52,000 | 5,000 | 52,000 |

—：未算出 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

（出典：【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定（平成 25 年 5 月 高知県）

表 4 人的被害：高知市総人口 350,426 人

| 被災の要因 | 現状 | | | 対策後 | | |
|---------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|
| | 死者 (人) | 負傷者 (人) | | 死者 (人) | 負傷者 (人) | |
| | | うち 重傷者 | | | うち 重傷者 | |
| 建物倒壊 | 2,100 | 11,000 | 6,300 | 270 | 3,000 | 1,700 |
| 急傾斜地崩壊 | 40 | 40 | 20 | — | — | — |
| 津波 | 10,000 | 840 | 290 | 590 | 0 | 0 |
| 火災 | 280 | 200 | 60 | — | — | — |
| ブロック塀 の転倒等 | 若干数 | 若干数 | 若干数 | — | — | — |
| 合計 | 12,000 | 12,000 | 6,700 | 860 | 3,000 | 1,700 |

—：未算出 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

(出典：【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定 (平成 25 年 5 月 高知県))

第3節 土砂災害について

1) 土砂災害危険箇所

土砂災害危険箇所は、斜面の崩壊形態によって、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流、地すべり危険箇所の3つに分類されています。初月地区（円行寺・柴巻）では、危険箇所とその周辺で、砂防指定地・地すべり防止区域（図9）、土砂災害警戒区域（図10）が指定されています。

これらの危険箇所等は、主に人家等の周辺を対象に調査したものであり、急峻な地形を有する当該地区では、道路沿線でも土砂災害のおそれがあります。

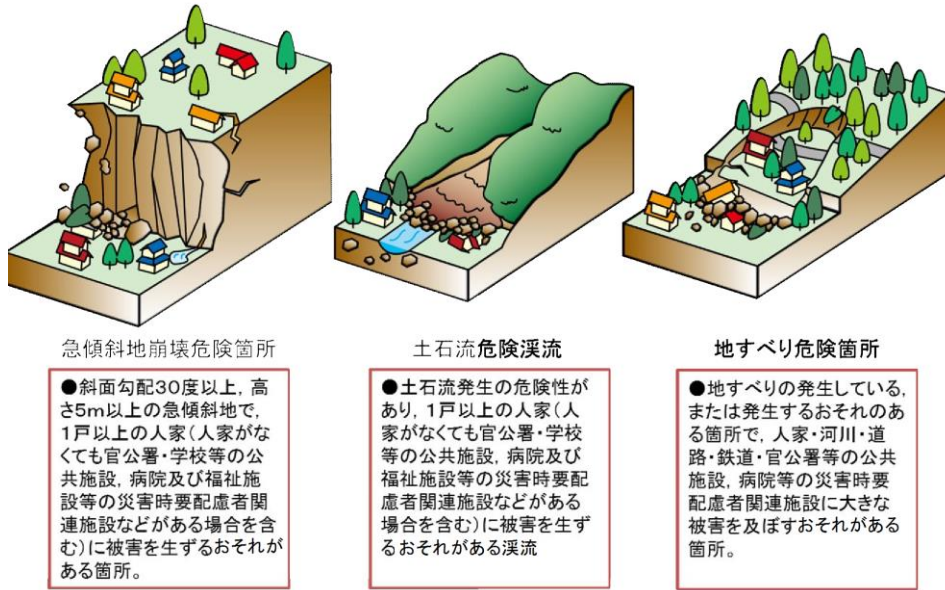


図8 土砂災害危険箇所

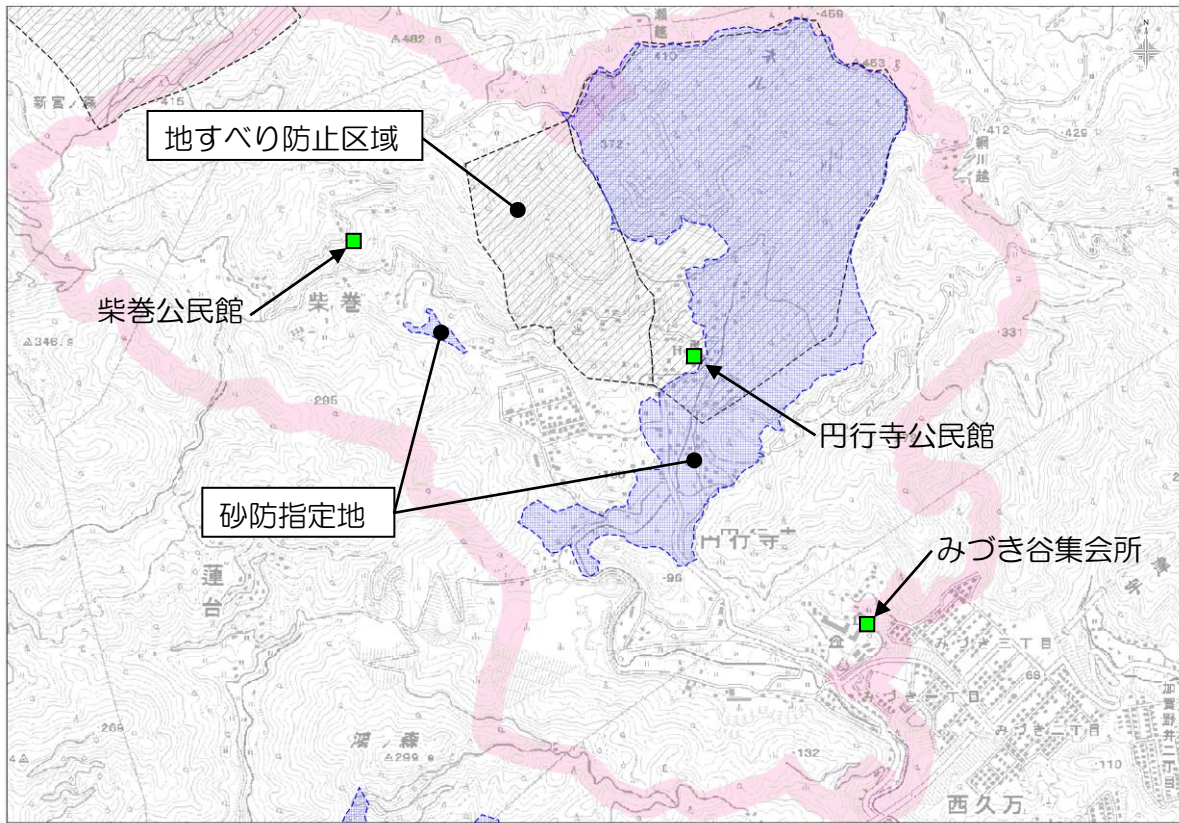


図9 砂防指定地・地すべり防止区域位置図

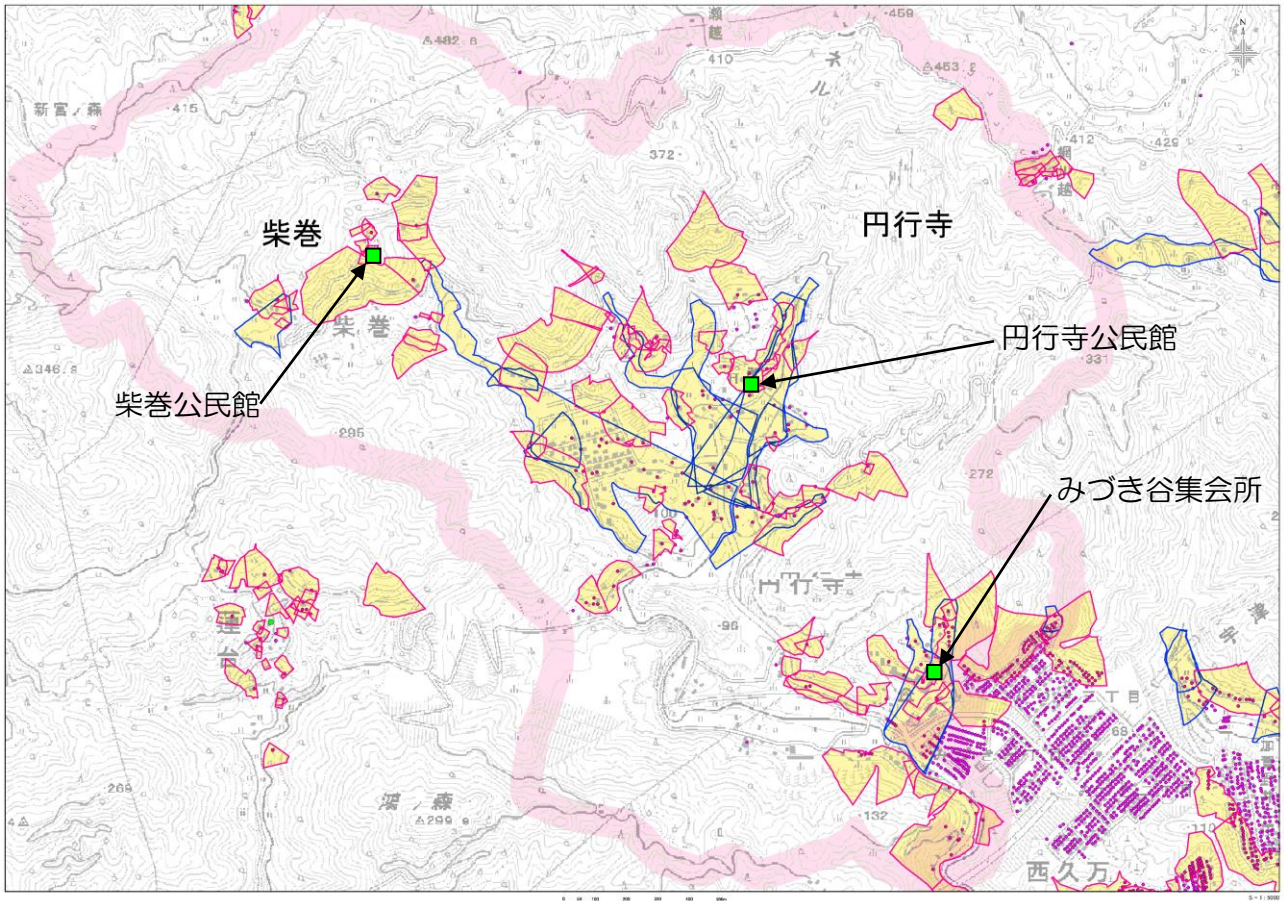


図 10 土砂災害警戒区域位置図

土砂災害 防止法[※]

平成13年4月に施行された「土砂災害防止法」により、土砂災害のおそれのある箇所（土砂災害危険箇所、P6参照）に対して、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」の指定に向けた調査や、区域の指定を進めています。市町村は、指定された土砂災害警戒区域等に対する避難場所・避難経路（P16参照）の策定等を進めています。

土砂災害警戒区域
【警戒避難体制を整備（市町村）】

土砂災害が発生した場合、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域を指します。

土砂災害特別警戒区域
【開発規制（宅地分譲、特定の開发行為）、建造物構造規制】

土砂災害が発生した場合、**建築物等に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域を指します。**

<急傾斜地の場合>

<土石流の場合>

※正式名称「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」

「あなたの大切なものを土砂災害から守るために」 高知県土木部防災砂防課 より抜粋

図 11 土砂災害警戒区域等

土砂災害警戒区域等に関する情報は、高知県ホームページで確認することができます。

土木部防災砂防課 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/171501/>

11

2) 近年発生した土砂災害

平成 26 年 8 月には、台風 12 号の豪雨により初月地区では大規模な道路災害が 2 件、かけ崩れ住家防災事業に該当する崖崩れが 3 件、その他小規模な道路災害等の被害が発生しています。

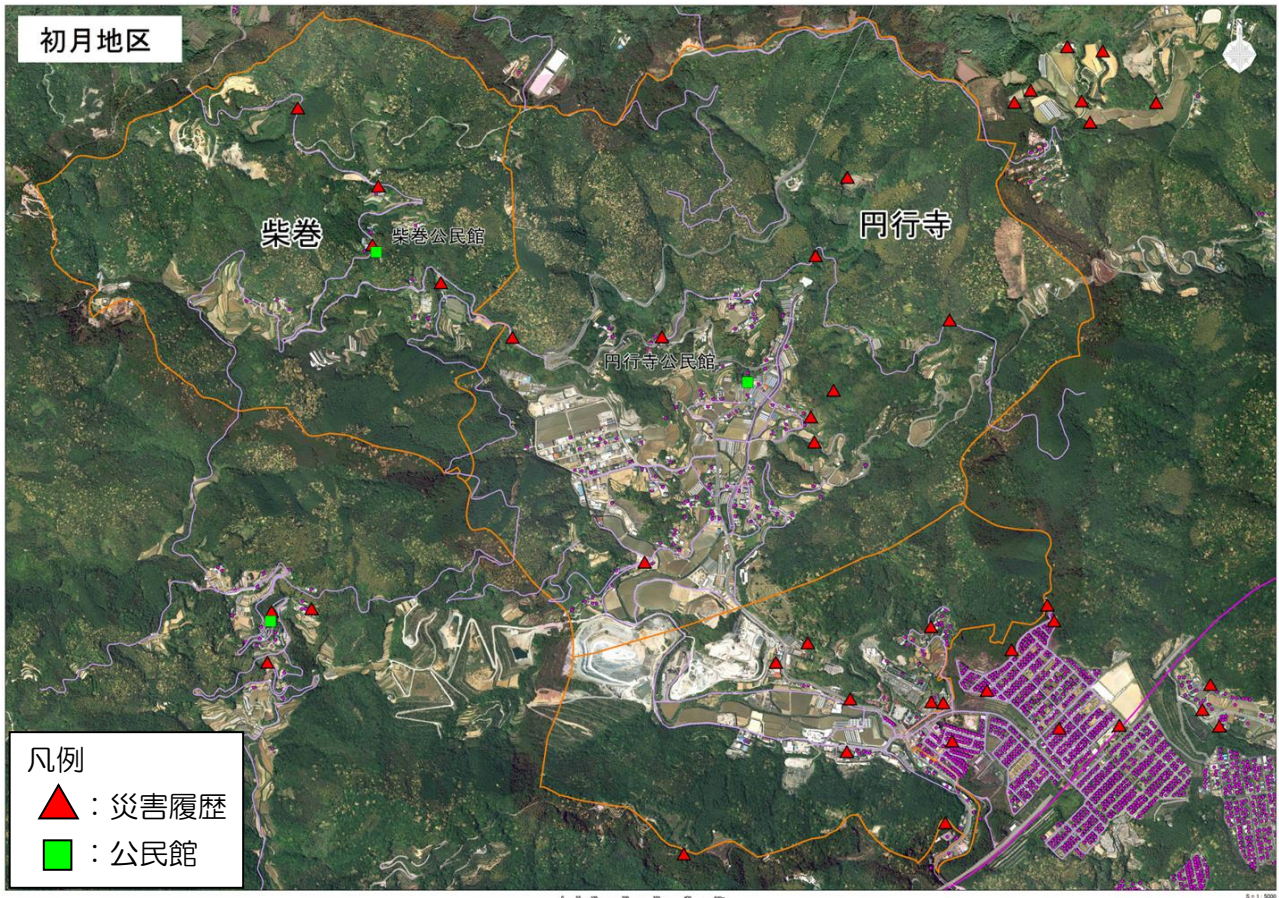


図 12 災害履歴（平成 26 年 8 月 2 日）

第5章 孤立のおそれのある集落

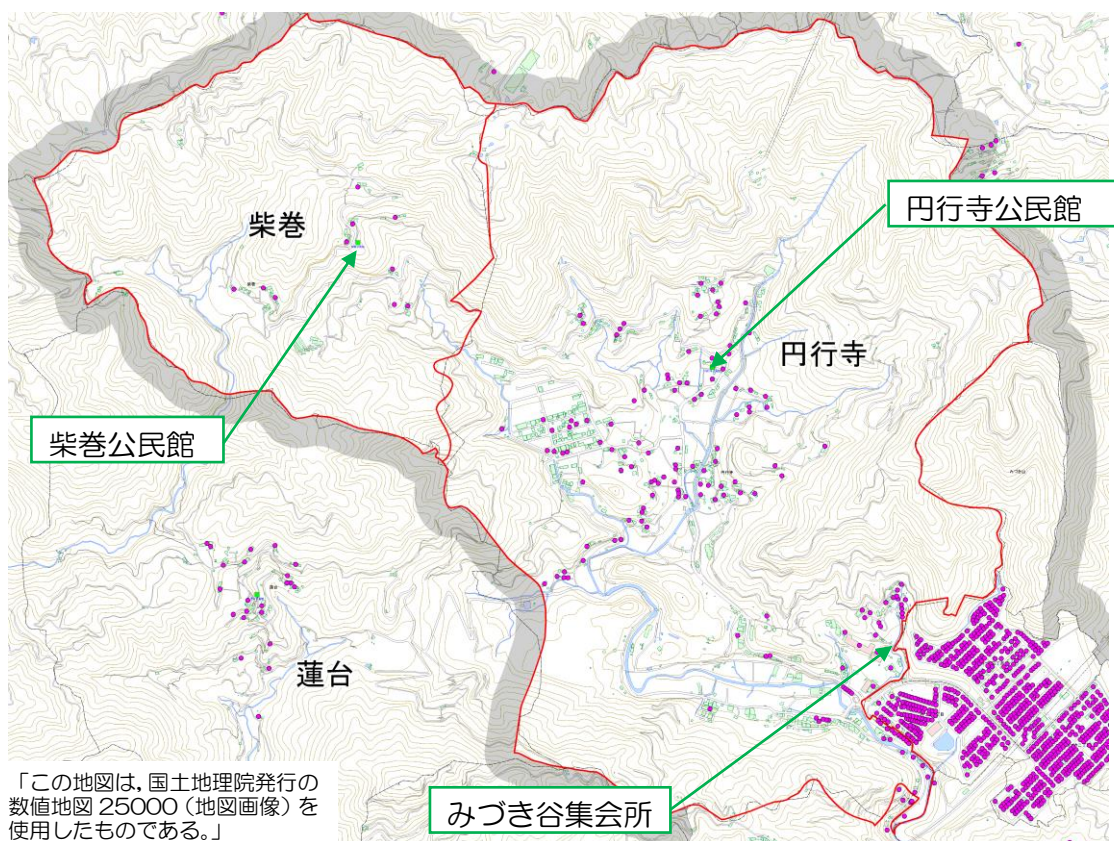
第1節 孤立集落とは

孤立集落とは、中山間地域において、土砂災害等による道路構造物の損傷、道路への土砂堆積等により、道路交通による外部からのアクセスが途絶し、人の移動・物資の流通が困難又は不可能となる集落です。

初月地区（円行寺・柴巻）では、人家の立地とコミュニティーの活動状況、道路状況、拠点となる施設等を考慮して孤立集落のエリアを設定します。

第2節 人家の立地とコミュニティーの活動状況

人家立地状況を図 13 に示します。地域コミュニティーは、2か所の公民館と1か所の集会所を中心に活動しています。



紫色の点が人家位置を表す

図 13 人家の立地状況

第3節 道路状況

道路状況を図 14 に示します。県道 270 号（弘瀬高知線），迂回路となる市道が通行不能となれば，円行寺・柴巻地区全体が孤立するおそれがあります。地区内でも市道の落石崩壊等により，孤立が発生するおそれがあります。



図 14 道路状況



第4節 拠点となる施設

1) 指定避難所

指定避難所は、災害時に自宅が倒壊した場合などに、一定期間生活を送る施設をいいます。初月地区の拠点施設となる指定避難所は、初月小学校、初月ふれあいセンター、高知ろう学校です。

初月地区の中山間部である円行寺・柴巻は、孤立した場合、これらの指定避難所に避難できないことが想定されます。

2) 緊急避難場所

緊急避難場所は、土砂災害の危険などから一時的に避難するための場所をいいます。孤立集落のエリア分けにあたって拠点施設となることを想定している緊急避難場所の候補地を表5に示します。

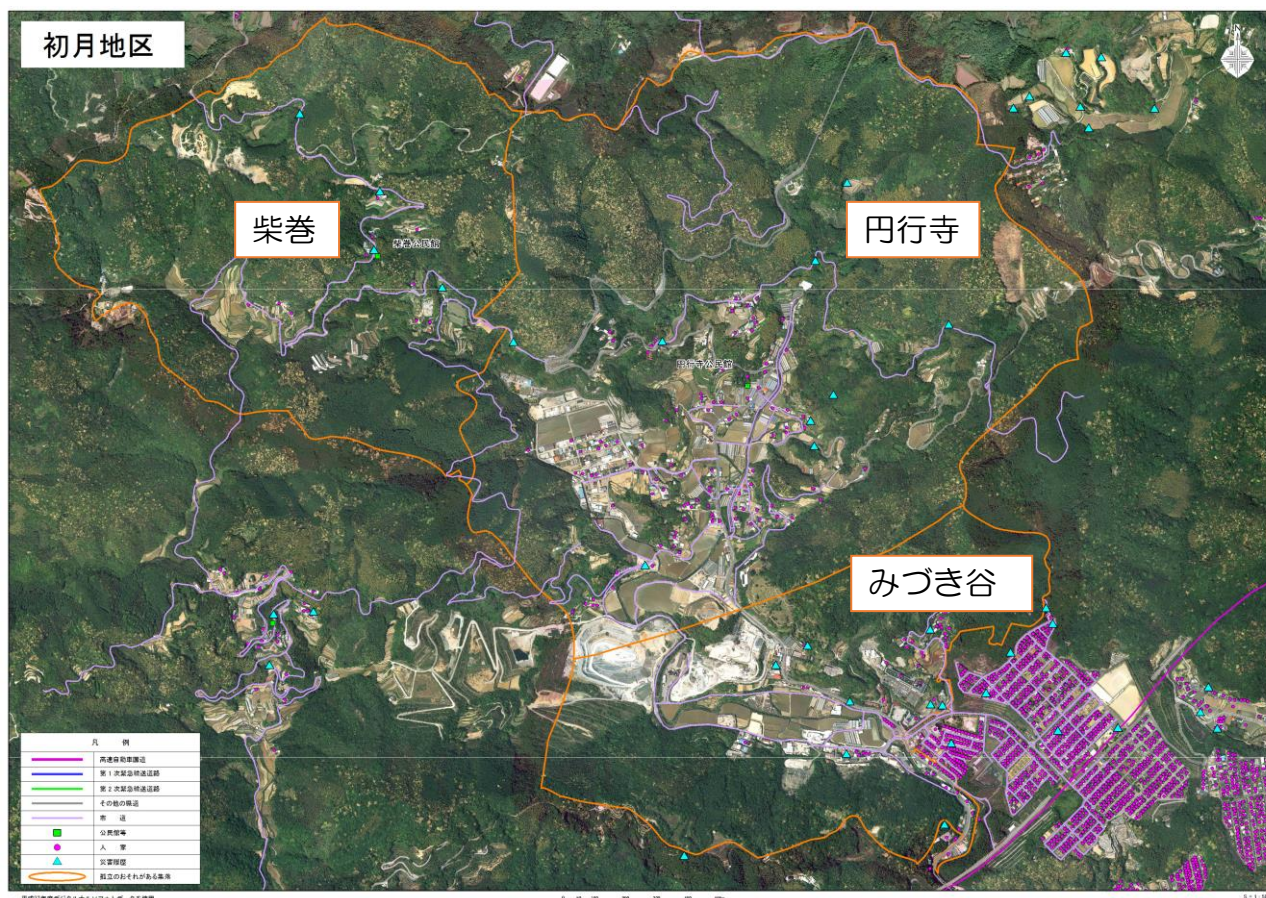
初月地区の中山間部である円行寺・柴巻では、一時的な避難と孤立化を想定した避難所としての機能を確保できる施設として円行寺公民館を選定しています。

表5 緊急避難場所

| NO. | 候補場所 | 備考 |
|-----|---|---|
| 1 |  <p>円行寺公民館</p> | 炊事場を備えており長期的な避難所としても利用する。近接した消防屯所に防災倉庫がある。 |
| 2 |  <p>柴巻公民館</p> | 盛土上に構築された建物であり、老朽化していることから緊急避難場所、避難所に適さない。現状では、情報拠点として位置付けする。 |
| 3 |  <p>特別養護老人ホーム湯の里</p> | 緊急避難場所、情報拠点として位置付けする。 |

第5節 孤立集落のブロック分け

本計画における孤立のおそれがある集落は、人家の立地とコミュニティーの活動状況、道路状況、拠点となる施設等を踏まえて、柴巻・円行寺・みづき谷の3つの集落に設定します。



ブロック境界はオレンジのラインで示す

図 15 孤立集落のブロック分け図

第6章 情報通信手段の検討

大規模災害時には、電源の喪失や情報の錯そうが想定されます。また、被災情報等の把握のため双方向の通信が可能であることが求められます。災害時の情報通信手段は、下表のものが考えられます。

初月地区（円行寺・柴巻）では、双方向通信が可能な設備（携帯型通信機器）を、孤立集落内の拠点施設等に配備することを検討します。円行寺は消防分団屯所に消防無線があり災害対策本部との連絡手段の多重化を図ります。人家が散在する非常災害時の無線機器貸し出し場合の集落内部の通信については、トランシーバーの活用等について検討します。

表 6 情報通信手段一覧

| 手段・概要 | 長所 | 短所 |
|--|--|---------------------------------|
| Lアラート（公共情報コモンズ） 地方公共団体等が発信する災害等の安心・安全に関わる情報を集約・共有し、テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネット、サイネージ等の多様なメディアを通じて、住民向けに迅速かつ効率的に一括配信するための共通基盤。 | 多様なメディアを通じて、誰もが、いつでも、どこにいても迅速かつ確実に情報を得ることができる。 | 情報の受信はできるが、送信はできない。 |
| 緊急速報メール 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアの携帯電話に一齐にお知らせするサービス。 | 緊急性の高い情報を、対象エリア内の携帯電話に一齐配信することが可能。 | 情報の受信はできるが、送信はできない。機種によっては受信不可。 |
| 携帯型通信機器（衛星携帯電話、MCA無線等） 非常災害時の通信手段として実績があり、無線従事者資格を要しない簡易な通信機器。 | 地形や通話距離等の条件に応じて機器を選定することにより、災害時に双方向通信が可能となる。 | 導入・運用コストがかかる。 |
| 防災行政無線 市が整備する、防災関係機関への連絡や、住民へ防災情報を伝達する無線通信システム。 | デジタル化によって双方向通信が可能となっている。 | 導入・運用コストがかかる。 |



図 16 携帯型通信機器のイメージ
(総務省 非常災害時の無線機器貸し出しイメージ図より抜粋)

第7章 ヘリコプターによる傷病者や物資の搬送

第1節 ヘリポート（輸送基地）整備の検討

集落の孤立が発生した場合の傷病者及び物資の搬送は、ヘリコプターによる輸送が有効な手段となります。緊急時の輸送基地とするためには、ヘリポートとして整備することが必要です。整備に当たっては、防災拠点となる収容避難場所との連携や、航空法等に照らした適地であること等の条件を考慮する必要があります。写真 4 は、高知市土佐山の整備事例です。



写真 4 ヘリポート整備例(高知市土佐山)

円行寺では、公有地の適地が存在しないため検討会で挙げられた民有地について検討を進めていきます。

第2節 ヘリコプター離着陸可能場所

特別養護老人ホーム湯の里の駐車場は、緊急時のみ利用することについて検討を進めていきます。

第8章 自主防災組織の活動活性化

高知市では、津波被害が甚大かつ広域的に発生するため、中山間部への救助・物資の補給活動に時間を要する事態も想定されます。中山間地域における自主防災活動は、地域を守る要となります。自主防災組織の活動を活性化するため、以下のような活動を地域の実情に合わせて継続します。

- 柴巻地区における自主防災組織の結成
- 住宅耐震化への取り組み（初月地区全体で取り組む）
- 他の自主防災組織等との連携
地区内，市内，県内の組織，連合会等との交流・情報交換
- 実践的な避難訓練
携帯型通信機器の双方向通信等
- 学習会・研修会等への参加

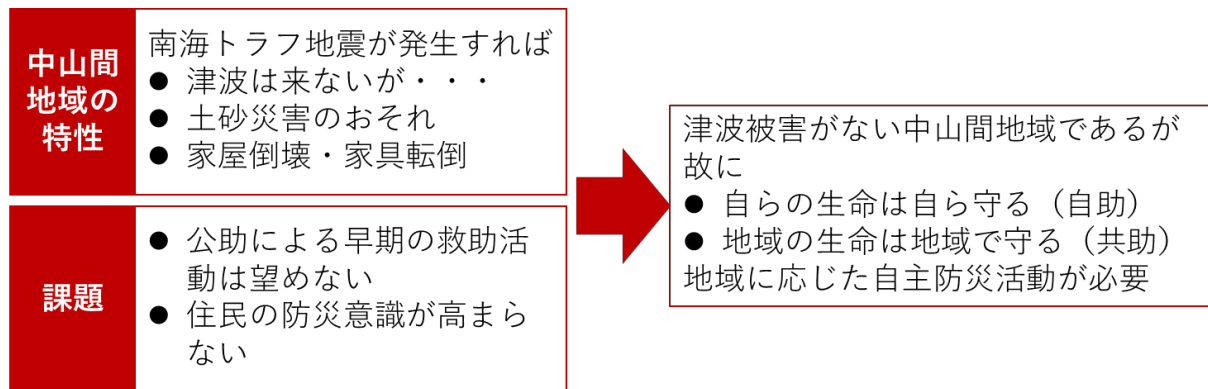


図 17 中山間地域における自主防災活動

第9章 現状の課題と解決の方向性

平成 28 年度に開催した中山間防災計画に係る検討会では、以下の課題が挙げられました。今後は、課題解決に向けて、自助・共助・公助の役割を分担し、対策を進めます。

表 7 今後の課題と解決に向けた方向性

| 分類 | 現状の課題 | 解決の方向性 |
|-------------------------------|--|--|
| 避難施設 | <ul style="list-style-type: none"> ● 円行寺公民館の避難所としての機能確保 ● みづき谷の一時避難場所の確保 ● 土砂災害警戒区域内に位置する ● 耐震性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所として必要な備品等の整備 ● 特別養護老人ホーム 湯の里との協定 ● 土砂災害対策，基礎調査の実施（砂防部局との連携） ● 孤立集落の拠点施設に対する耐震化補助 |
| 情報通信 | <ul style="list-style-type: none"> ● 災害対策本部と拠点施設の双方向通信手段の確保 ● 集落内部の通信手段 | <ul style="list-style-type: none"> ● 拠点施設（公民館等）への携帯型通信機器の配備 ● トランシーバーの配備，徒歩等による手段の検討（地域） |
| 緊急用ヘリコプター 離着陸場 ヘリポートの整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公有地等へのヘリポート整備（輸送基地） ● 緊急時に離着陸が可能な場所の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公有地に適地がないため検討会で意見があがった候補地（民有地）について検討 ● 特別養護老人ホーム湯の里の駐車場を緊急時のみ利用することについて検討 |
| 自主防災組織の 活動活性化等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災組織が未結成（柴巻） ● 家屋耐震化が進んでいない | <ul style="list-style-type: none"> ● 柴巻地区の自主防災組織結成 ● 初月地区全体での家屋耐震化の推進に向けた組織的な取り組み |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 水対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上水の供給が停止し給水車が来るまでの水の確保 ・ 生活用水の確保 ● 孤立化を防ぐ道路整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 備蓄，既存の貯水タンク，水道施設の災害時利用（貯水槽） ● 道路整備要望 |
| 各世帯での 取り組み（自助） | <ul style="list-style-type: none"> ● 家屋の耐震化，家具の転倒防止 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高知市住宅耐震改修費等補助事業，高知市家具等転倒防止対策支援事業等の活用 |

第10章 検討経緯

表 8 検討経緯一覧

| 名称 | 開催日 | 開催場所 | 参加人数 | 内容 |
|----------------------|----------------|--------|------|--|
| 初月地区中山間防災計画に係る第1回検討会 | 平成28年8月24日(水) | 円行寺公民館 | 8人 | 全体説明 <ul style="list-style-type: none"> 検討主旨の説明 地区の現状把握 孤立集落と拠点施設等に関する意見交換 |
| 初月地区中山間防災計画に係る第2回検討会 | 平成28年10月18日(火) | 円行寺公民館 | 21人 | 防災計画検討 <ul style="list-style-type: none"> 中山間防災計画書(案) 防災計画のとりまとめ |
| 初月地区中山間防災計画 報告会 | 平成28年12月13日(火) | 円行寺公民館 | 16人 | <ul style="list-style-type: none"> 成果発表 今後の取組 |



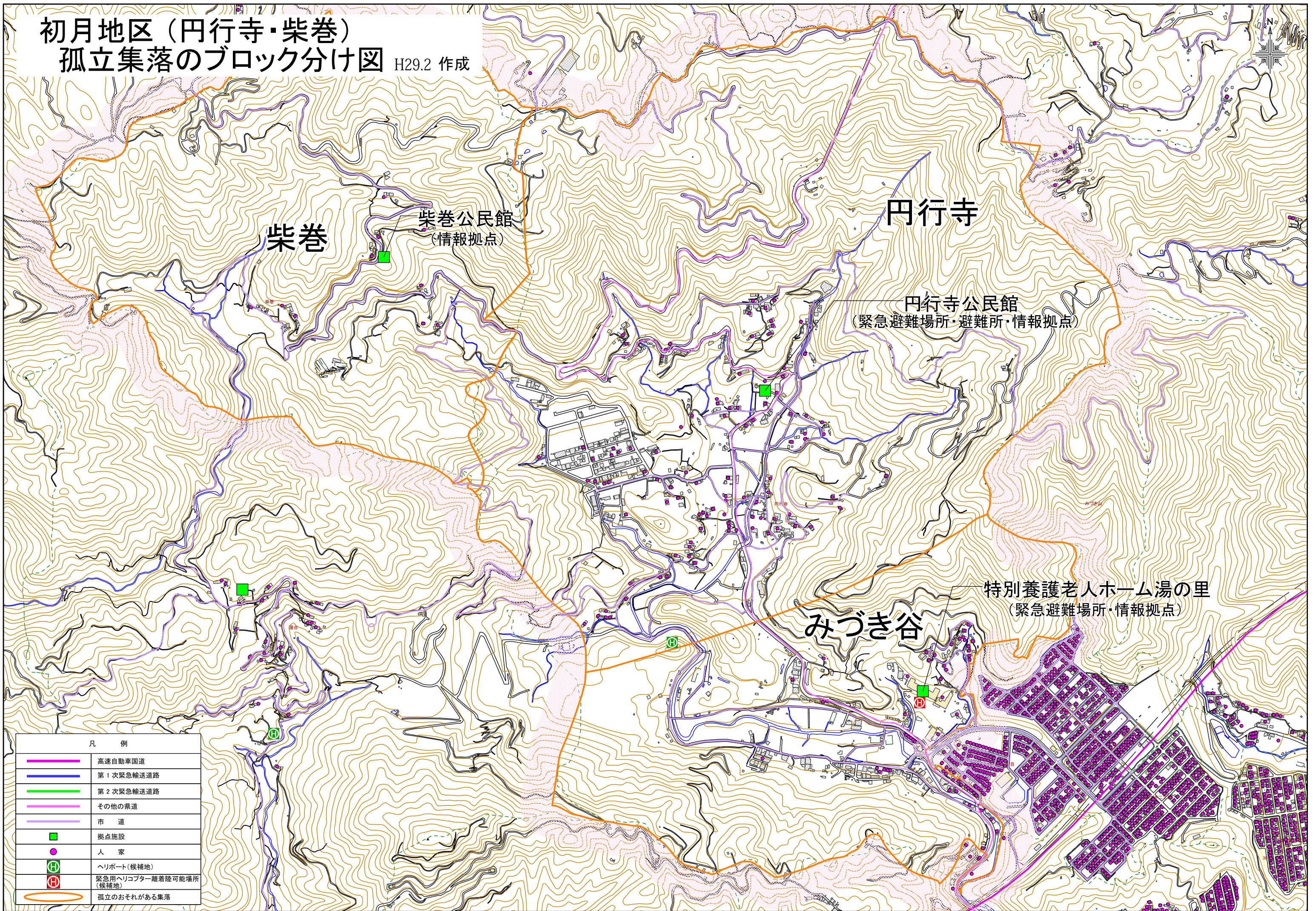
写真 5 第1回検討会開催状況



写真 6 第2回検討会開催状況

初月地区（円行寺・柴巻） 孤立集落のブロック分け図

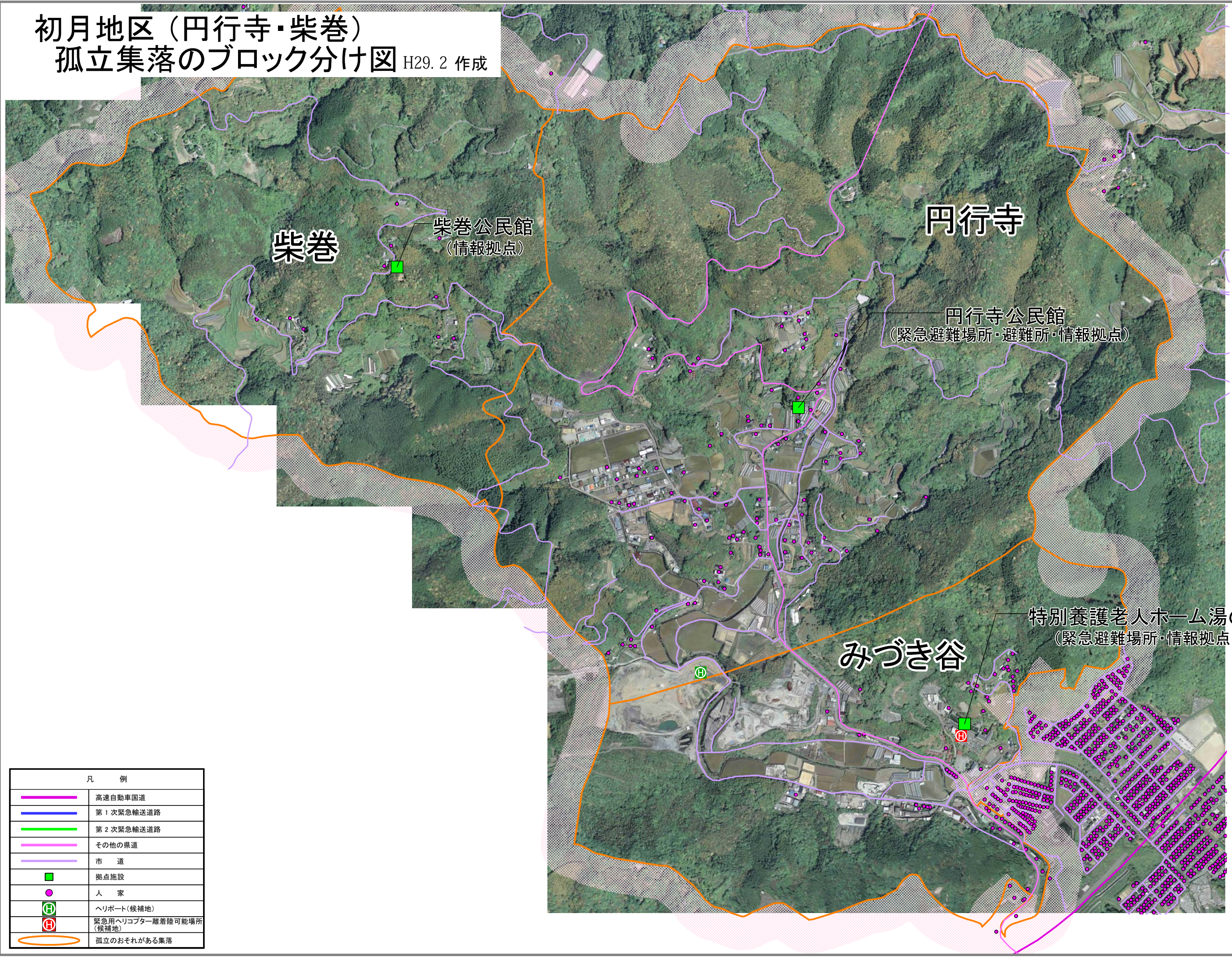
初月地区（円行寺・柴巻）
孤立集落のブロック分け図 H29.2 作成



| 凡 例 | |
|-----|-----------------------|
| | 高速自動車国道 |
| | 第1次緊急輸送道路 |
| | 第2次緊急輸送道路 |
| | その他の県道 |
| | 市 道 |
| | 拠点施設 |
| | 人 家 |
| | ヘリポート(候補地) |
| | 緊急用ヘリコプター離着陸可能場所(候補地) |
| | 孤立のおそれがある集落 |

「この地図は、背景図に国土地理院発行の基礎地図情報を使用したものである。」

初月地区（円行寺・柴巻）
孤立集落のブロック分け図 H29. 2 作成



柴巻

柴巻公民館
(情報拠点)

円行寺

円行寺公民館
(緊急避難場所・避難所・情報拠点)

みづき谷

特別養護老人ホーム湯の里
(緊急避難場所・情報拠点)

| 凡 例 | |
|-----|---------------------------|
| | 高速自動車国道 |
| | 第1次緊急輸送道路 |
| | 第2次緊急輸送道路 |
| | その他の県道 |
| | 市 道 |
| | 拠点施設 |
| | 人 家 |
| | ヘリポート(候補地) |
| | 緊急用ヘリコプター離着陸可能場所 (候補地) |
| | 孤立のおそれがある集落 |

「この地図は、背景図に平成27年度デジタルオルソフォトデータを使用したものである。」